

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業方針

ものづくりを通じて、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指す。地球環境と地域社会に貢献し、あらゆるステークホルダーに必要とされる企業へと成長すること。

売上高
8,014百万円

営業利益
760百万円

親会社株主帰属純利益
531百万円

② 中長期の経営戦略

1. 太陽電池製造装置の強化

米国の主要顧客に装置の新設・改造を提供。ペロブスカイト関連の新製品開発。インクジェット塗布装置で事業範囲を拡大。タンデム型等の新技術に対応。

3. FA装置の市場拡大

太陽電池以外の業界へ営業強化。真空貼合装置を幅広く展開。産業廃棄物業界の自動化ニーズを取り込み。AI搭載選別機をスタンダード製品化。

2. 太陽光パネルリサイクル事業の拡大

ホットナイフ分離法とブラシかきとり法をデファクトスタンダード化。ガラスメーカーとの連携強化。廃棄パネル回収ネットワークの構築。欧州等での営業活動強化。

4. 環境関連サービスの持続強化

太陽光発電所の検査サービスを継続。パネルのリユース・リサイクルで回収ネットワーク構築。植物工場では付加価値の高い品種開発に取り組む。

③ 対処すべき課題

① 既存事業の強化・拡大

- ・米国太陽電池メーカーの生産能力拡大需要への対応
- ・ペロブスカイト等次世代型太陽電池向け装置開発
- ・保守サービスと部品販売の安定化

② 新規事業領域への展開

- ・太陽光パネルリサイクル市場での営業・開発強化
- ・太陽電池以外業界へのFA装置営業力強化
- ・欧州等海外リサイクル市場への対応

③ 生産体制と人員体制の強化

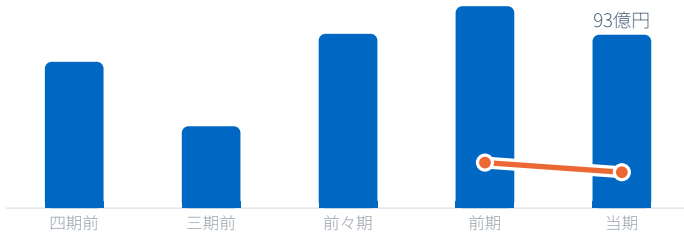
- ・松山工場の生産能力を活かした大型ラインの製造
- ・営業活動の効率化と人員の最適活用
- ・生産体制の強化に向けた取組

面接で使えるポイント

- ・米国太陽電池メーカーとの長期的な取引実績を基盤に、次世代型太陽電池向け装置開発で国内市場にも展開する成長戦略。
- ・ホットナイフ分離法など独自の特許技術により、太陽光パネルリサイクル装置で2032年以降の大量排出に対応する環境ビジネスを…
- ・太陽電池以外の業界向けFA装置で人手不足・安全性課題に対応し…

証券コード 6255

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
機械製造業を営む上場企業

主力事業・セグメント

- ・機械（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率20.7%と高い収益性
- ・財務健康度89点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
93億円営業利益率
20.7%財務健康度
89点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 40.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
532万円

機械内 194位/208社

平均年齢
39.3歳

機械内 190位/209社

平均勤続
11.4年

機械内 187位/209社

女性管理職
16.1%

機械内 7位/168社

男性育休
0.0%

機械内 168位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

